

			追加・変更意見	追加○/削除×	OSFの補正で十分	医薬品として不適切
820		尿崩症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意				
821		疾患： 上皮小体機能異常症、アルドステロン症、アジソン病	副甲状腺機能異常症、アルドステロン症、アジソン病、末端肥大症、巨人症、成長ホルモン分泌不全症、SIADH、Bartter症候群、褐色性細胞腫、インスリンノーマ			
822	代謝性疾患	糖尿病とその合併症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意				
822			動脈硬化症とその合併症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意	○		
822			金属イオンやアミノ酸代謝異常に関する疾患を挙げることができる	○		
823		高脂血症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意	脂質異常症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意			
824		高尿酸血症・痛風の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意				
825	神経・筋の疾患	神経・筋に関する代表的な疾患(列挙)	神経・筋に関する代表的な疾患			
826		脳血管疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意				
827		てんかんの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意				
828		パーキンソン病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意				
829		アルツハイマー病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意				
830		疾患： 重症筋無力症、脳炎、髄膜炎、熱性けいれん、脳腫瘍、一過性脳虚血発作、脳血管性痴呆	疾患： 重症筋無力症、脳炎、髄膜炎、熱性けいれん、脳腫瘍、脳血管性認知症、Pick病、進行性筋ジストロフィー症、多発性硬化症			
831	総合演習	指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる				
832	(4)疾患と薬物治療(精神疾患等)	精神疾患	代表的な精神疾患(列挙)			
833			統合失調症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意			
834			うつ病、躁うつ病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意			
835			疾患： 神経症、心身症、薬物依存症、アルコール依存症	神経症、心身症、薬物依存症、アルコール依存症、不眠症		
836	耳鼻咽喉の疾患	耳鼻咽喉に関する代表的な疾患(列挙)	耳鼻咽喉に関する代表的な疾患			
837		めまいの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意	アレルギー性鼻炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意			

			追加・変更意見	追加○/削除×	OSFの補正で十分	医薬品として不適切
838		疾患： メニエール病、アレルギー性鼻炎、花粉症、副鼻腔炎、中耳炎	メニエール病、めまい、花粉症、副鼻腔炎、中耳炎、扁桃炎			
839	皮膚疾患	皮膚に関する代表的な疾患(列挙)	皮膚に関する代表的な疾患			
840		アトピー性皮膚炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意				
841		皮膚真菌症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意				
842		疾患： 蕁麻疹、薬疹、水疱症、乾癬、接触性皮膚炎、光線過敏症	蕁麻疹、薬疹、水疱症、乾癬、接触性皮膚炎、光線過敏症、褥瘡、帯状疱疹			
843	眼疾患	眼に関する代表的な疾患(列挙)	眼に関する代表的な疾患			
844		緑内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意				
845		白内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意	白内障の病態生理			
846		疾患： 結膜炎、網膜症	結膜炎、網膜症、加齢黄斑変性			
847	骨・関節の疾患	骨、関節に関する代表的な疾患(列挙)	骨、関節に関する代表的な疾患			
848		骨粗鬆症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意				
849		慢性関節リウマチの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意	慢性関節リウマチの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意			
850		疾患： 変形性関節症、骨軟化症	変形性関節症、骨軟化症			
851	アレルギー・免疫疾患	代表的なアレルギー・免疫に関する疾患(列挙)	代表的なアレルギー・免疫に関する疾患			
852		アナフィラキシーショックの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意				
853		自己免疫疾患(全身性エリテマトーデスなど)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意	膠原病の病態生理、適切な治療薬およびその使用上の注意について説明できる。			
854		後天性免疫不全症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意	先天性免疫不全症・後天性免疫不全症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意			
855	移植医療	移植に関連した病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意				
856	緩和ケアと長期療養	癌性疼痛に対して使用される薬物(列挙)、使用上の注意	癌性疼痛に対して使用される薬物、使用上の注意			
857		長期療養に付随する合併症(列挙)、その薬物治療	長期療養に付随する合併症、その薬物治療			
857	救急医療		AEDの使用方法和心肺蘇生法	○		
857			救急処置のABC	○		
857			中毒の診断と治療	○		
857			中毒事故の防止	○		
857	災害医療		災害医療	○		
857			トリアージの概念	○		

			追加・変更意見	追加○/削除×	CR1の補注で示す	添付資料にて示す
858	総合演習	指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる	疾患例について必要な情報の収集と、適切な薬物治療法の考案			
859	(5)病原微生物・悪性新生物と戦う	感染症	主な感染症(列挙)、その病態と原因			
860		抗菌薬	抗菌薬の作用点に基づく分類			
861			代表的な抗菌薬の基本構造			
862			代表的なβ-ラクタム系抗菌薬の抗菌スペクトルに基づく分類、有効な感染症(列挙)			
863			テトラサイクリン系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症(列挙)			
864			マクロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症(列挙)			
865			アミノ配糖体系抗菌薬の抗菌スペクトルに基づく分類、有効な感染症(列挙)			
866			ピリドンカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症(列挙)			
867			サルファ薬(ST合剤を含む)の有効な感染症(列挙)			
868			代表的な抗結核薬(列挙)、作用機序			
869			細菌感染症に関する代表的な生物学的製剤(列挙)、その作用機序			
870			代表的な抗菌薬の使用上の注意			
871			特徴的な組織移行性を示す抗菌薬(列挙)			
872		抗原虫・寄生虫薬	代表的な抗原虫・寄生虫薬(列挙)、作用機序および臨床応用			
873		抗真菌薬	代表的な抗真菌薬(列挙)、作用機序および臨床応用			
874		抗ウイルス薬	代表的な抗ウイルス薬(列挙)、作用機序および臨床応用			
875			抗ウイルス薬の併用療法において考慮すべき点(列挙)			
876		抗菌薬の耐性と副作用	主要な化学療法薬の耐性獲得機構			
876		化学療法薬の選択と副作用	感染症による化学療法薬の選択法			
876			耐性菌の出現を防ぐための化学療法薬の使用法			
876		耐性菌の出現	主要な化学療法薬に対する(耐性菌の)耐性獲得機構			
877			主要な化学療法薬の主な副作用(列挙)、その症状			
878		悪性腫瘍の病態と治療	悪性腫瘍の病態生理、症状、治療			
879			悪性腫瘍の治療における薬物治療の位置づけ			
880			化学療法薬が有効な悪性腫瘍(治療例の列挙)			

			追加・変更意見	追加○/削除×	CR1の補注で示す	添付資料にて示す
881		抗悪性腫瘍薬	代表的な抗悪性腫瘍薬(列挙)			
882			代表的なアルキル化薬(列挙)、作用機序			
883			代表的な代謝拮抗薬(列挙)、作用機序			
884			代表的な抗腫瘍抗生物質(列挙)、作用機序			
885			抗腫瘍薬として用いられる代表的な植物アルカロイド(列挙)、作用機序			
886			抗腫瘍薬として用いられる代表的なホルモン関連薬(列挙)、作用機序			
887			代表的な白金錯体(列挙)、作用機序			
888			代表的な抗悪性腫瘍薬の基本構造			
888			代表的な分子標的治療薬(列挙)、作用機序			
889		抗悪性腫瘍薬の耐性と副作用	主要な抗悪性腫瘍薬に対する耐性獲得機構			
890			主要な抗悪性腫瘍薬の主な副作用(列挙)、その症状			
891			副作用軽減のための対処法			
631		電離放射線の生体への影響	電離放射線の医療への応用			
329	(6)現代医療の中の生薬・漢方薬	漢方医学の基礎	漢方医学の特徴			
330			漢方薬と民間薬、代替医療との相違			
331			漢方薬と西洋薬の基本的な利用法の違い			
332			漢方処方と「証」との関係			
333			代表的な漢方処方の適応症と配合生薬			
334			漢方処方に配合されている代表的な生薬(例示)、その有効成分			
335			漢方エキス製剤の特徴、煎液との比較(列挙)			
336		漢方処方への応用	代表的な疾患に用いられる生薬および漢方処方の応用、使用上の注意			
337			漢方薬の代表的な副作用や注意事項			

C15 薬物治療に役立つ情報

892	(1)医薬品情報	情報	医薬品として必須の情報(列挙)	医薬品として必須の情報		
893			医薬品情報に関わっている職種(列挙)とその役割	医薬品情報に関わっている職種とその役割		
894			医薬品の開発過程で得られる情報の種類(列挙)	医薬品の開発過程で得られる情報の種類		
895			医薬品の市販後に得られる情報の種類(列挙)	医薬品の市販後に得られる情報の種類		
895				有害事象と副作用の相違を知る		
896			医薬品情報に関係する代表的な法律と制度			
897		情報源	医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料	医薬品情報源としての代表的な二次資料、三次資料とそれらの特徴		

			追加・変更意見	追加○/削除×	内容確認済十分	内容確認して不十分
898		医薬品情報源としての代表的な二次資料、三次資料(列挙)とそれらの特徴				
899		厚生労働省、製薬企業などの発行する資料(列挙)とそれらの特徴				
900		医薬品添付文書(医療用、一般用)の法的位置づけと用途				
901		医薬品添付文書(医療用、一般用)に記載される項目(列挙)とその必要性	医薬品添付文書(医療用、一般用)に記載される項目とその必要性			
902		医薬品インタビューフォームの位置づけと用途				
903		医療用医薬品添付文書と医薬品インタビューフォームの違い		×		
903			患者向医薬品ガイド	○		
903			重篤副作用疾患別対策マニュアル	○		
903			適正使用に不可欠な情報を列挙し、内容を具体化する	○		
904	収集・評価・加工・提供・管理	目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索・収集できる	目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索・収集	×		
905		医薬品情報を質的に評価する際に必要な基本的項目(列挙)	医薬品情報を質的に評価する際に必要な基本的項目			
906		医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供できる	医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供			
907		医薬品情報の加工、提供、管理の際に、知的所有権、守秘義務に配慮する	医薬品情報の加工、提供、管理の際の、知的所有権、守秘義務に配慮について	×		
908		主な医薬品情報の提供手段(列挙)、それらの特徴	主な医薬品情報の提供手段、それらの特徴			
909	データベース	代表的な医薬品情報データベース(列挙)、それらの特徴	代表的な医薬品情報データベース、それらの特徴			
910		医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、適切に検索できる	医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解	×		
911		インターネットなどを利用して代表的な医薬品情報を説明できる		×		
912	EBM(Evidence-Based Medicine)	EBMの基本概念と有用性		×		
913		EBM実践のプロセス				
914		臨床研究法(ランダム化比較試験、コホート研究、症例対照研究など)の長所と短所				
915		メタアナリシスの概念を理解し、結果を評価できる		×		
916		真のエンドポイントと代用のエンドポイントの違い				
917		臨床適用上の効果指標(オッズ比、必要治療数、相対危険度など)				

			追加・変更意見	追加○/削除×	内容確認済十分	内容確認して不十分
918	総合演習	医薬品の採用、選択に当たって検討すべき項目(列挙)	医薬品の採用、選択に当たって検討すべき項目			
918			薬事委員会	○		
918			重要な診療・薬物療法ガイドラインについて説明出来る	○		
919		医薬品に関する論文を評価・要約し、臨床士の問題を解決するために必要な情報を提示できる				
920	(2)患者情報	情報と情報源	薬物治療に必要な患者基本情報(列挙)			
921			患者情報源の種類(列挙)、それぞれの違い			
922		収集・評価・管理	問題志向型システム(POS)			
923			薬歴、診療録、看護記録などから患者基本情報を収集できる	×		
924			患者、介護者との適切なインタビューから患者基本情報を収集できる	×		
925			種別患者情報から医薬品の効果および副作用などを評価し、対処法を提案する	×		
926			SOAPなどの形式で患者記録を作成する			
927			SOAPなどの形式で患者記録の作成			
927			チーム医療において患者情報を共有することの重要性を感じとる			
928			チーム医療において患者情報の共有を感じとるは入らない			
928			患者情報の取扱いにおいて守秘義務を遵守し、管理の重要性を説明できる			
929	(3)テラーメイド薬物治療を目指して	遺伝的素因	患者情報の取扱いにおいて守秘義務を遵守し、管理の重要性			
929			薬物の作用発現に及ぼす代表的な遺伝的素因(例示)			
930			薬物の作用発現に影響する代表的な遺伝的素因(例示)			
931			薬物動態に影響する代表的な遺伝的素因			
931			遺伝的素因を考慮した薬物治療(例示)			
932		年齢的要因	新生児、乳児に対する薬物治療で注意すべき点			
933			幼児、小児に対する薬物治療で注意すべき点			
934			高齢者に対する薬物治療で注意すべき点			
935		生理的要因	生殖、妊娠時における薬物治療で注意すべき点			
936			授乳婦に対する薬物治療で注意すべき点			
937			栄養状態の異なる患者(肥満など)に対する薬物治療で注意すべき点			
937		性別的要因	男女の違いにより薬物治療で注意すべき点	○		
938		合併症	腎臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点			
939			肝臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点			
940			心臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点			